

熱田小児科クリニック 掲示板

2月のテーマ 『花粉症』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

花粉症とは、スギやヒノキなどの植物の花粉が原因となって、くしゃみ、鼻水などのアレルギー症状を起こす病気です。季節性アレルギー性鼻炎とも呼ばれています。(主な、アレルゲンとしては、スギ、ヒノキ、カモガヤ、オオアワガエリ、ブタクサ、シラカンバなど)

症状

鼻の三大症状(くしゃみ、鼻水、鼻づまり)だけでなく、目の症状(かゆみ、涙、充血など)を伴う場合が多く、その他にのどのかゆみ、皮膚のかゆみ、下痢、熱っぽい感じなどの症状が現れることがあります。

(さらに、シラカンバ、ハンノキ、イネ科花粉症などの人が、ある果物や野菜を食べると、口の中がかゆくなり、腫れたりする **口腔アレルギー症候群** という症状もあります。)

花粉対策

- ① 花粉情報をチェック
- ② 外出時は、マスク、メガネの着用
- ③ 毛羽立った毛織物のコートは避ける
- ④ 帰宅時は衣類や髪に付着した花粉をよく払う、着替えるとなお良い。
- ⑤ 花粉を室内に侵入させないよう窓は閉めておく。
- ⑥ 掃除はこまめにしましょう。(床、フローリングは拭き掃除が良い。)
- ⑦ 布団、洗濯物は外に干さない。
- ⑧ 空気清浄器を使用するのもよいでしょう。

アレルゲン免疫療法について

これまでのアレルギー疾患に対する治療は、現れた症状を抑える治療(対象療法)が主でした。たとえば喘息では、吸入薬や抗アレルギー薬を使って気管支の炎症を抑制し、発作が出た時に気管支を拡張させる薬を使うことで、症状を和らげることができます。また、花粉症では、くしゃみや鼻水の症状を薬で抑えることができます。しかし、残念ながら、これらの対症療法では、喘息や花粉症を根本から「治す」ことはできません。これらに対してアレルゲン免疫療法は、体のアレルゲンに対する反応(免疫反応)を変えることで、体に免疫力をつけてアレルギー反応を起こしにくくするという、全身的・包括的かつ根本的な治療法です。アトピー型喘息では、臨床症状と気道過敏性を改善させ、薬物減量効果を有することが証明されています。小児であれば、喘息

の治癒する確率を上昇させます。アレルゲン免疫療法はアレルギー疾患に対して、自然経過を修飾する可能性のある唯一の治療法です。
当クリニックでは、スギ花粉症に対して舌下法または皮下注射法でのアレルゲン免疫療法による治療が可能です。



↑スギ



↑ヒノキ